

令和2年度 国立赤城青少年交流の家 教育事業（民間企業等連携事業）

## 「育パパ&育ママ応援ファミリーキャンプ in 国立赤城青少年交流の家2020秋」

### 1. 趣旨

当機構は、体験活動を通じた青少年の自立を目指し、幼児期からの体験活動や基本的な生活習慣の育成について推進するとともに体験の場と機会のさらなる充実について取り組んでいるところである。本事業は、その具体的な事業の一つとして、民間企業等との連携による教育事業等の質的・量的な拡充を図るため、民間企業との共催事業を実施し、民間企業と連携したモデルを構築する。

### 2. 事業の概要

#### (1) 期日

令和2年11月7日（土）～8日（日）

#### (2) 参加者

①参加対象 幼児・小学生を含む家族・親子

②参加人数 48名（16家族）

保護者24名 小学生12名 幼児12名

千葉県8家族、東京都4家族、埼玉県2家族、神奈川県2家族

### 3. 企画運営のポイント

- ・「地蔵岳ハイキング」、「夜の森体験」、「たき火体験」などを通して、赤城山の大自然の中で、秋の自然を満喫する機会と場を提供する。
- ・家族内の交流を重視し、親子でゆっくりとした時間を過ごせるような活動プログラムやプログラム構成に配慮した。
- ・地元の近隣施設の連携強化も踏まえ、「さつまいも掘り体験」を実施し、赤城周辺の魅力を参加者に伝える。
- ・新型コロナウイルス感染症対策として、1家族1部屋の配室、就寝前・起床時の検温、手洗い、マスクの着用など、基本的な感染症対策の徹底を図った。

### 4. 日程

	午前	午後	夜
11月7日（土）	浅草駅発一（特急りょうもう号）赤城駅着	地蔵岳ハイキング ようこそセレモニー 夜の森探検 たき火体験	夜の森探検 たき火体験
11月8日（日）	秋の赤城の自然散策 お別れセレモニー さつまいも掘り体験	赤城駅一（特急りょうもう号） 浅草駅着	

## 5. 主な活動内容



「車掌さんになって  
写真を撮ろう」



「地蔵岳ハイキング」



「地蔵岳ハイキング」



「たき火体験」



「朝のつどい」



「さつまいも掘り体験」

## 6. 成果と課題

### (1) 参加者アンケート結果

満足 13家族(88%)、やや満足 1家族(6%)、やや不満 1家族(6%)

### (2) 参加者の声

- ・「超絶楽しかった!!」の一言につきます。プログラムも多すぎず、少なすぎず、ボランティアさんも職員さんもみんな優しく、参加してよかったです。また是非来たいです。
- ・キャンプはやってみたかったけど、ハードルが高く迷っていました。今回、初心者には優しい内容で不便もなく、参加して良かったです。
- ・たき火体験では、癒やされてとても活力をもらいました。子ども達もずーっと火を見ていました。
- ・コロナで中々地元に戻れない中久しぶりに大自然に触れて元気をもらいました。
- ・3才未満の子2人連れで参加したが、少し時間がタイトでした。

### (3) 成果

- ①キャンプに参加しようと思ったきっかけが一番多かったのは、「プログラムに魅力を感じたから」であることから、プログラムの企画は良かった。また、コロナ禍において、自然体験など家族で楽しむ時間が、これまでなかなか取れなかったとの声が多数寄せられた。そのような中、家族内の交流を重視し、「たき火体験」のような、親子でゆっくりとした時間を過ごす活動内容が好評であった。

### (4) 課題

- ①幼児以上を対象とし、その対象を想定したプログラム内容であったが、1・2歳児のみを連れた家族が2家族あり、「時間がタイトだった。」といった感想が寄せられた。広報の際、対象家族の記載を工夫し、参加者とプログラム内容とのミスマッチが起きないようにする必要がある
- ②コロナ禍において、遠方からの貸切電車利用での来訪である特殊な形態の事業であることから、体調不良者が出た際の対処方法など、より具体的な想定を立てておく必要がある。

担当：主幹兼事業推進係長 福岡 公平